

### <BPSDのある人への支援を考えてみましょう>

BPSDは、その人の生活・経験・学歴・仕事・身体的な状況に大きく左右されます。その人がおかれている環境や人間関係、もともとの性格などが絡み合っただけで現れるため、症状の出方も人それぞれになります

## 認知症の人の思いは…

思いは人それぞれで両極端  
失望感を味あわせないように

わかりやすく  
ゆっくり  
話してほしい

子ども扱い  
馬鹿にした態度  
はイヤ

普通に接して

意味なく  
笑わないで

認知症…  
理解して配慮して

失敗すると  
みじめ

失敗しても  
許してほしい

成功する方法を  
教えてほしい

穏やかに  
笑顔で温かく  
接してほしい

でも…  
配慮は最小限に

### 対応

- 「認知症だから」「こう接するべきだ」という先入観で行動しない
- 認知症の人とは「こう接するべきだ」という考えから一旦離れ、認知症でない人と同じように接してみる
- その都度、気が付いたことに対応していく（対応を変化させる）
- その都度、認知症を学んで、必要だと感じたことをしていく
- 余計なこと＝過度なことをしないのも大事

## トライ & エラー

失敗したら違う方向からみていく

## 認知症の人の気持ちに寄り添う

- 心をかき乱さないような対応を  
「心をかき乱す」とは…慌てさせる 動じさせる 不安にさせる パニック 混乱 追い詰める 迷わす等

心がかき乱されるとBPSDが顕著になります

**BPSD** ⇒ 身体的・環境・介護によって起こる

不眠 妄想 幻覚

異食  
暴力  
弄便

認知機能障害  
複雑性注意機能  
学習と記憶  
実行機能 言語  
知覚・運動  
社会的認知

不穏

徘徊

昼夜逆転

放尿

抑うつ状態

帰宅願望

ケアの拒否

その人の話を聴くことが  
ケアのヒントになる

その人の生きてきた歴史が  
その人らしさを輝かせる